

日本周産期・新生児医学会雑誌投稿規定

(平成9年7月13日改正)

(平成21年10月18日改正)

(平成24年7月31日改正)

(平成27年8月3日改正)

(平成30年5月1日改正)

1. 投稿論文

- 1) 本誌への投稿掲載は、共著者も含め本学会会員に限る。非会員は論文の投稿および採択までに必ず入会手続きを済ませる。
- 2) 投稿論文は、他誌に発表されていない学術論文に限る。
- 3) 論文の種別は、「総説、原著、症例報告、速報、依頼原稿、Letter to the Editor」で、刊行・編集委員会が適切と認めたものとする。
 - ・速報：新しい研究方法の開発、あるいは将来発展する価値のある新知見を早急に報告・掲載する。
 - ・Letter to the Editor：本誌掲載論文に対する意見を掲載し、合わせて当該論文執筆者からのコメントも掲載する。
- 4) 臨床研究の成績発表を旨とする論文は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年2月28日一部改正）を遵守し、患者プライバシーを十分に守る。また、必ず施設内審査委員会（IRB）もしくは倫理審査委員会（REC）の承認を得たうえで、本文にその旨を明記（IRB承認番号など）して提出する。
- 5) 投稿の際には、
 - ①「日本周産期・新生児医学会雑誌への投稿論文に求められる倫理指針」（毎年第1号に掲載）を遵守する
 - ②「刊行・編集委員会内規定-論文の投稿・刊行における不適正行為への対応」（毎年第1号に掲載）に示す不適正行為がない
 - ③著作権を本学会に譲渡するについて誓約し、著者全員の会員番号・氏名を提出する。
- 6) 英文での投稿は、依頼原稿を除き受け付けない。

2. 論文の採択

- 1) 論文の採択は、査読による審査を経て、刊行・編集委員会で決定する。刊行・編集委員会で採択された論文は、原則として採択順に掲載する。ただし、Letter to the Editorは刊行・編集委員会が判断し決定する。
- 2) 査読により修正となった論文の再提出は、原則として4カ月以内とする。査読結果通知日の4カ月後までに再提出する。これを過ぎた場合は「不採録」とする。
- 3) 修正論文は、査読結果通知に記載の「修正の記載方法」（訂正内容のまとめ、訂正箇所の明示）に従う。従わない場合の修正論文は受け付けない。「修正の記載方法」は必ず確認する。

3. 執筆要項

- 1) 論文には、その種別（総説、原著、症例報告、速報、依頼原稿、Letter to the Editor）を明記する。
- 2) 論文種別の掲載頁数・原稿文字数は以下に示す。

論文種別	掲載頁数	原稿文字数*	図表	概要	英文抄録**
総説	10	18,000字以内	図表1点は900字 と換算ください	400字以内	300語以内
原著	6	10,800字以内		400字以内	300語以内
症例報告	4	7,200字以内		400字以内	300語以内
速報	2	3,600字以内	-	-	-
Letter to the Editor	1	800字以内	-	-	-

* 原稿文字数は、図表・概要・英文抄録を含めた文字数とする（表紙は字数に含まない）

** 英文抄録は表題、著者名、所属を含め300語以内、英文300語は600字と換算する

- 3) 原稿は、①表紙、②概要、③英文抄録、④本文、⑤文献、⑥図表のタイトルおよび説明文、⑦図表の順とし、①から⑥は各々改頁で始める。
- 4) 表紙には、論文種別、タイトル、著者氏名、著者所属、Key Word、および著者連絡先（氏名、連絡先住所、メールアドレス）を記載する。Key Wordは5つ以内の英語とし、Medical Subject Headings (MeSH, Index Medicus) を参考とする。英文による所属・住所も記載する。
- 5) 共著者は、論文に関する研究の計画作成、計画に基づく研究の実施、データの収集、分析、解釈、論文の執筆、の何れかに関与した者に限る。

■本文について

- 1) 原稿は、横書きとし、現代仮名遣い、当用漢字を用いる。
- 2) 本文は、原著は目的、方法、結果、考察の順、症例報告は症例提示、考察の順で記載する。
- 3) 原稿はA4判とし、Microsoft Wordを用いて標準書式あるいはそれに準ずる書式で「行番号をページごとに振り直し」て作成する。
- 4) ①表紙から⑤文献までは、通しの頁番号を入れる。
- 5) 英文抄録は、行間2行をあける。また、英語を母国語とする医師、あるいは英語が堪能な医師の校閲を受ける。
- 6) 外国の人名、薬品名などの化学用語は必ず原語を用い、半角英文数字で表記する。
- 7) 薬品名は、商品名ではなく一般名を用いる。
- 8) 度量衡は、CGS単位、km, m, mm, μ , m μ , L, dL, mL (ccでなく), kg, g, mg, γ , mEq/L, mg/dL (mg%でなく) などを用い、数字は算用数字 (1 2 3 など) を用いる。
- 9) 本文中の文献番号は、右肩上に片パーレン付き（例：周産期⁴⁾）で明記する。
- 10) 著者全員の著者役割を、本文の最後に具体的に記載する。

【例】

共著者名：論文に関する研究の構想、計画作成に関与

共著者名：データの収集、分析、解釈に関与

共著者名：論文の執筆に関与

■文献について

- 1) 文献は、本文中に肩付けした引用番号順に配列する。
- 2) 著者名は、3名までを明記し、4名以上は「……ほか」あるいは「……et al.」とする。
- 3) 誌名の略記は、邦文誌は医学中央雑誌刊行会編“医学中央雑誌収載誌目録略名表”，英文誌は“Index Medicus”に準じる。

- 4) 巻・頁が未定でも“Epub ahead of print”としてオンラインで発表されている文献は、DOI (Digital Object Identifier) を併記する。ただし、巻・頁が決定している場合は、雑誌として記載する。
- 5) ガイドラインなどインターネット上でのみ公開されている文献は、URLとともにその文献が公開された年月日、公開日が不明な場合は取得年月日を記載する。なお、出版物として刊行されている場合は、刊行物として記載する。

a. 雑誌の記載順序

引用番号) 著者名：題名. 雑誌名 発行年 (西暦) ; 巻：頁 - 頁

引用番号) 著者名：題名. 雑誌名 発行年 (西暦) ; doi [Epub ahead of print]

【例】

- 8) Lahita R, Kluger J, Drayer DE:Antibodies to nuclear antigens in patients treated with procainamide or acetylprocainamide. N Engl J Med 1979 ; 301 : 188-95
- 12) 鎮目和夫：我国における下垂体疾患の現状. 日内分泌会誌 1975 ; 52 : 1141-51
- 14) Lodha A, Seshia M, McMillan DD, et al. :Association of Early Caffeine Administration and Neonatal Outcomes in Very Preterm Neonates. JAMA Pediatr 2014; doi: 10.1001/jamapediatrics.2014.2223. [Epub ahead of print]

b. 単行本の記載順序

引用番号) 著者名：分担項目名. 編者名. 書名. (巻). (版). 発行地：発行者名, 発行年 (西暦) : 頁 - 頁

【例】

- 5) Foley T, Malvaux P, Blizzard RM:Thyroid disorders. In : Kappy MS, Blizzard RM, Migeon CJ, eds. The Diagnosis and Treatment of Endocrine Disorders in Childhood and Adolescence. 4th ed. New York : Charles C Thomas, 1994 : 457-9
- 26) 佐野 豊：神経内分泌学の歴史と発展. 井村裕夫総編集. 神経内分泌. 1. 形態. 東京：中外医学社, 1985 : 1-16

c. インターネット上の文献の記載順序

引用番号) 著者名：題名. <URL> (公開日もしくはは取得日)

【例】

- 7) 国民性の国際比較研究委員会：7 カ国国際比較調査. 統計数理研究所 1995 〈[http : //www. ism. ac. jp/~yoshino/arito/jp/top_j. htm](http://www.ism.ac.jp/~yoshino/arito/jp/top_j.htm)〉 (取得日2011. 8. 20)

d. 他の形式 : Uniform requirements for manuscripts submitted to biomedical journals.

([http://www. icmje. org/](http://www.icmje.org/)を参照)

■図表について

- 1) そのまま印刷が可能なデータとする。
- 2) 画像の場合は、解像度300dpi以上で長辺が15cm程度の大きさのものを用意する。
- 3) 図表はモノクロ掲載が原則で、カラーの図表はグレースケールに変換する。カラー掲載希望の場合は、実費負担とする。
- 4) データ化できない場合は、画像は鮮明なキャビネ判程度の印画紙とし、A4 判用紙に貼付して必要に応じ天地を明記する。図中文字などは、印画紙に直接記入しない。
- 5) 図表は1点ずつ、図表番号とタイトル (例：表1 対象の臨床的背景) , および必要に応じて図表の下方に略号や統計結果などの説明を、脚注の形で記載する (図表番号・タイトル・解説文は別にまとめて記載できる。その場合は図表本体に図表番号がわかるように示す) .

- 6) 患者の顔写真を使用する際は、患者本人および患者の代諾者に説明のうえ、文書で同意を得る。本人が意思表示ができない場合、代諾者の同意のみとする。写真説明中には同意を得た旨を明記し、写真は患者を特定できぬよう工夫をする。
- 7) すでに刊行されている雑誌や著書から図表を引用する場合には、著作権を有する出版社あるいは学会、著者などから引用・転載許可を得たうえ、出典を明記する。出典の表記は文献表記に準じる。

4. 利益相反に関する自己申告書の提出

- 1) 日本周産期・新生児医学会が定めた利益相反指針及び指針細則 (<https://www.jspnm.com/aboutgakkai/pdf/rss171218.pdf>) に則り、「発表者の利益相反自己申告書(様式1-1)」(https://www.jspnm.com/aboutgakkai/pdf/rsjl_1A.pdf) を提出する。様式1-1の提出は、すべての投稿論文において、すべての著者がそれぞれの申告書を提出する。
- 2) 原則として利益相反状態の有無は、論文の採択には影響しない。
- 3) 論文が採択された場合、利益相反状態の有無にかかわらず申告書内容は学会誌に掲載する。

【利益相反状態にある場合の記載例】

「今回の論文に関連して、開示すべき利益相反状態は以下のとおりです」

- ・報酬／〇〇製薬株式会社
- ・講演料／□□製薬株式会社
- ・原稿料／◇◇製薬株式会社
- ・研究費・助成金（寄付講座所属）／株式会社××××××

【利益相反状態にない場合の記載例】

「今回の論文に関連して、開示すべき利益相反状態はありません」

5. 原稿データ

- 1) 本文原稿、図表原稿、利益相反に関する自己申告書は、それぞれデータファイルを作成する。ファイル名は必ず半角英数字で拡張子を付ける。
(例:gencho.doc, fig1.jpg, fig2.jpg, table1.xls, table2.xls, fig_table.pptx, seiyaku.pdf, etc)
- 2) 本文原稿 (gencho.doc) は、標準的なフォント (MS明朝, MS ゴシック, 10~11pt) を用い、「行番号をページごとに振り直し」、①表紙, ②概要, ③英文抄録, ④本文, ⑤文献, ⑥図表のタイトルおよび説明文ごとに改頁をする。①~⑥は1つのファイルで作成する。
- 3) 図表原稿は、XLS (S), PPT (X), JPG, TIFF, GIF, AI, EPS, PSD形式のデータとする。データ化できない場合は、本文原稿プリントアウトとともに下記宛に簡易書留郵便で送る。その際、原稿アップロード後に発行される論文IDを明記する。
日本周産期・新生児医学会 事務局雑誌刊行・編集係
(原稿在中と表記のうえ、簡易書留郵便にて送付)
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30 メジカルビュー社内
- 4) 誓約書は Web 上のフォームに誓約内容のチェック、著者全員の会員番号・氏名を入力する。
- 5) 利益相反に関する自己申告書は、署名・捺印のうえ PDF データにする。PDF にできない場合は、本文原稿、図表原稿とは別に FAX にて学会事務局 (FAX 03-5228-2104) 宛に送る。その際、論文タイトルと原稿アップロード後に発行される論文 ID を明記する。
- 6) アップロードする各原稿データは、総計で 20MB を超えない。

6. 投稿方法

投稿は、学会ホームページの会員専用ページから電子投稿システムScholarOne Manuscripts™にアクセスして行う。詳しくは電子投稿システムのログイン画面にあるオンライン投稿マニュアルを参照のこと。

投稿の主な流れを以下に示す。

- 1) ScholarOne Manuscripts™にアクセスし、ログインする。初回投稿時のみユーザーIDとパスワードを作成する。
- 2) メニューより「著者」を選択（クリック）し、ダッシュボード画面へ移動する。ダッシュボード画面の「論文作成」を選択する。
- 3) 設問・指示に従って論文種別、タイトル、要旨、キーワード、著者・共著者、誓約内容をチェックし、原稿ファイル（本文原稿、図表原稿、利益相反に関する自己申告書）をアップロードする。
- 4) アップロードしたファイルはPDFに変換できるので、その内容を確認する。確認画面で入力内容、原稿の書式、文字化け、画像の鮮明度を必ず確認する。
- 5) 確認の後「投稿」を選択すると、論文ID、論文タイトル、著者名、投稿日が表示され、投稿完了し、投稿論文受付メールが投稿者あてに届く。

7. 著者校正

- 1) 著者校正は初校1回とする。原則として誤字・脱字以外の変更は不可とする。
- 2) 刊行・編集委員会が大幅な変更と認定した場合には再査読とする。

8. 別冊

- 1) 総説・原著・症例報告・速報・依頼原稿は、無料にて50部の別冊を作成する。ただし、Letter to the Editorの別冊は作成しない。
- 2) 希望の別冊部数は印刷の都合上50部単位とし、著者校正時に部数を確認する。ただし、50部を超える場合は実費負担とする。

9. 実費負担

以下の1)～3)は実費負担とする。

- 1) 投稿原稿は以下の掲載頁数を超えた頁分、依頼原稿は依頼頁数を超えた頁分。

論文種別	掲載頁数	1頁超過	2頁超過	3頁超過	4頁超過
総説	10				
原著	6				
症例報告	4	2,800円	3,600円	4,400円	5,200円
速報	2				
Letter to the Editor	1				

- 2) カラー印刷は、仕上り1頁50,000円。
- 3) 50部（無料）を超える別冊。

+50部 (合計100部)	+100部 (合計150部)	+150部 (合計200部)	+200部 (合計250部)	+250部 (合計300部)
10,000円	18,000円	26,000円	34,000円	42,000円